

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-127121

(43)Date of publication of application : 16.05.1997

(51)Int.Cl. G01N 35/00
G06F 12/00(21)Application number : 07-285616 (71)Applicant : HITACHI LTD
(22)Date of filing : 02.11.1995 (72)Inventor : ITANO MASANOBU
TAKI MASAHIRO

(54) DATA PROCESSOR FOR ANALYTIC SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily protect and manage files and improve the operability by applying the function capable of directly setting the access right of another user to the measuring condition file and data file generated by each user.

SOLUTION: When the utilization of an analytic system is started, a user retrieves the measuring condition file under his control registered in a measuring condition file control file with an ID card. If the aimed file does not exist, the user newly inputs the measuring condition file name, and selects and registers one right of the accessible conditions to the generated file for another user, i.e., whether another user is accessible to this file, whether only file reference is allowed, or whether copying or editing is allowed. After measurement is finished and a data processor receives analysis data, the accessible range right to the data file for another user is set. When the access right is changed, the file to be changed is selected, and the changed access right is inputted and recorded in the file.

登録ID
100
102
103
:
:
10n

ファイル作成ユーザID
測定条件ファイル名
ユーザに対するアクセス権限
パラメータ1
パラメータ2
パラメータ3
:
:
パラメータn

分析用ユーザID
測定条件ファイル名
ユーザに対するアクセス権限
測定日時
データ1
データ2
:
:
データn

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-127121

(43)公開日 平成9年(1997)5月16日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 1 N 35/00			G 0 1 N 35/00	A
G 0 6 F 12/00	5 3 7		G 0 6 F 12/00	5 3 7 A

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平7-285616

(22)出願日 平成7年(1995)11月2日

(71)出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72)発明者 板野 正信

茨城県ひたちなか市大字市毛882番地 株

式会社日立製作所計測器事業部内

(72)発明者 滝 正弘

茨城県ひたちなか市大字市毛882番地 株

式会社日立製作所計測器事業部内

(74)代理人 弁理士 小川 勝男

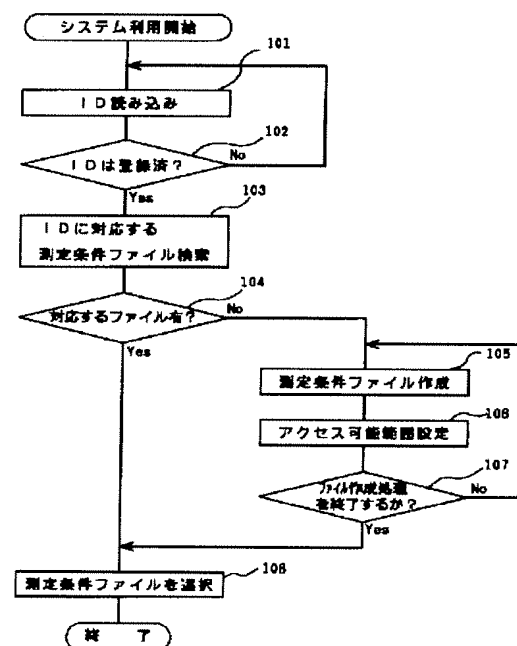
(54)【発明の名称】 分析システム用データ処理装置

(57)【要約】

【課題】システムを利用する各ユーザ自身が、他ユーザに対する測定条件ファイルおよびデータファイルの他ユーザに対するアクセス権限をファイル毎に設定でき、ファイルの保護および管理が容易に行うことができ、操作性の向上に寄与する。

【解決手段】データ処理装置に、測定条件ファイルおよびデータファイルに対し、ユーザ自身によるアクセス権限設定機能を付加することにより、ファイルの保護および管理を容易に行うことができる。

図 1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】測定条件の設定、データ測定、測定データの解析、解析結果の出力、装置条件およびデータ処理パラメータから構成される測定条件ファイルおよびデータファイルの保存機能、分析装置システムの制御およびそのための動作パラメータの設定機能を有するデータ処理装置において、システムを利用しているユーザ自身が、自らが設定した測定条件ファイルおよびその測定条件ファイルを使って測定した結果を記録したデータファイルに、ユーザ自身が他ユーザのアクセス権限を設定できる機能を有することを特徴とする分析システム用データ処理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、複数のユニットから構成される分析装置から構成される分析システム用データ処理装置に関する。

【0002】

【従来の技術】ユーザ毎の ID コードを用いることにより試料の分析データを保護する分析装置が、特開平 1-250758 号公報に記載されている。特開平 1-250758 号公報には、ユーザのアクセス権限に応じて操作可能な機能が複数段階に設定されており、ユーザが ID コードを入力すると、このユーザの有するアクセス権限に応じた操作を行う点、ユーザはこの画面表示を見て自分が操作する範囲の機能を確認し、それに基づいて必要な操作を行い、これらの各ユーザのシステムに対する権限の範囲により、各ユーザのデータへのアクセス権限が決められる点が示されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】特開平 1-250758 号公報によれば、システムに対してユーザが行える操作を制限するユーザのアクセス権限により、ユーザは自分に許可されている機能のみを利用でき、この機能に対する制限によりデータの保護を実現している。ところが、他ユーザが作成した測定条件ファイルやデータファイルであっても、ファイルを作成したユーザと同じアクセス権限を持つユーザであれば容易にアクセスできるため、測定条件ファイルやデータファイルが他ユーザによって誤って書き換えられる可能性があり、測定条件ファイルやデータファイルに対する保護を十分に行うことができない。

【0004】また、測定条件ファイルやデータファイルの保護はシステム管理者が設定するユーザアクセス権限により一意に決定されるため、個々の測定条件ファイルやデータファイルに対する保護は行うことができない。

【0005】本発明の目的は、データ処理装置を利用する各ユーザが、自らが管理するファイルのアクセス権限をファイルに対し、直接設定できる機能により、システムを使用する各ユーザ自身が測定条件ファイルおよびデ

ータファイルの保護を容易に行えるデータ処理装置を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記課題は、データ処理装置を利用する各ユーザが、それぞれ自らが作成した測定条件ファイルおよびデータファイルに対し、他ユーザのアクセス権をファイルに対し直接設定できる機能を付加することにより実現できる。

【0007】本発明によれば、システムを利用する各ユーザが自らが作成した個々の測定条件ファイルおよびデータファイルの他ユーザへのアクセス権を自由に設定できるため、他ユーザに対する測定条件およびデータファイルの保護や他ユーザへのファイルの開放が自由に設定でき、測定条件ファイルおよびデータファイルの保護および管理を容易に行うことができる。

【0008】

【発明の実施の形態】図 4 に分析システムを構成するデータ処理装置と分析装置の構成図を示す。

【0009】データ処理装置 401 は、通信回線 412 によって、分析装置 407 と接続されている。

【0010】データ処理装置は、各ファイルを記憶するファイル記憶部 402、表示部 404、操作部 405、外部通信インタフェース部 406、そしてこれらを制御する演算制御部 409 から構成される。

【0011】分析装置は、データ処理装置から送信されてくる測定条件パラメータを記憶しているパラメータ記憶部 408、外部通信用インタフェース部 410、分析部 411、そしてこれらを制御する演算制御部 409 から構成される。

【0012】まず、図 1 に従い、測定条件ファイル作成処理について説明する。

【0013】（ステップ 101）分析システム利用開始時に、ユーザは各自の有するユーザ ID を入力する。

【0014】（ステップ 102）ステップ 101 で入力されたユーザ ID を、図 5 に示されたユーザ ID 管理ファイル内に登録されている登録 ID と比較し、対応する ID があればステップ 102 の処理へ移る。もしも対応するユーザ ID が無ければ、ステップ 101 へ戻りユーザ ID の入力待ちとなる。

【0015】（ステップ 103）ステップ 101 で入力されたユーザ ID を持つユーザ管理下の測定条件ファイルの検索処理を行う。図 4 に示された測定条件ファイル管理ファイル内に登録されているファイルを抽出する。

【0016】（ステップ 104）ステップ 101 で行った検索処理の結果を判定し、ユーザ ID に対応する測定条件ファイルが有れば、ステップ 107 へ、無ければステップ 104 へ分岐する。

【0017】（ステップ 105～107）ステップ 105 にて、測定条件ファイル名を新規に入力し、測定条件ファイルを作成する。

【0018】ステップ106では、作成した測定条件ファイルの他ユーザへのアクセス可能権限を設定し、登録する。この権限に、他ユーザがこの測定条件ファイルにアクセスすることが可能か、可能ならファイル参照のみ、ファイルコピー可、編集可能などの権限のいずれか一つを選択させ、権限を記憶させる（図6）。

【0019】ステップ105～106の処理を継続させるか否かをステップ107でユーザに問い合わせ、測定条件ファイルの追加を行う場合、再度ステップ105～106を行う。

【0020】（ステップ108）登録されている測定条件ファイルのうち、ステップ103で選択された測定条件ファイル一覧を表示し、分析に用いる測定条件ファイルの選択を促す。データ処理装置は、測定条件ファイルを検索する際、ステップ101で入力されたユーザIDを含む測定条件ファイルのみを一覧に表示するため、他ユーザへアクセス禁止というアクセス権限になっている測定条件ファイルは表示されない。従って、他ユーザの測定条件のうち、アクセス禁止となっているファイルが保護されるとともに、他ユーザアクセス可としているファイルのアクセスは可能であるため、測定条件ファイルの共用も可能である。

【0021】次に、測定終了後におけるデータファイルへのアクセス権限の設定処理について、図2に従って説明する。

【0022】（ステップ201）測定処理終了後、データ処理装置が分析装置からデータを取り込む。

【0023】（ステップ202）データ取込完了後、データファイルに対する他ユーザへのアクセス可能範囲権限を設定するため、アクセス権限を入力する。

【0024】（ステップ203）入力された権限を、データファイルに記録する。他ユーザがこのデータファイルにアクセスすることが可能か、可能ならファイル参照のみ、ファイルコピー可、再計算可能などの権限を記録する（図7）。

【0025】また、測定条件ファイルおよびデータファイルへのアクセス権限の設定は、測定条件ファイル作成時および測定完了時の他に、アクセス権限再設定処理においても行うことができる。これについて、図3に従い説明する。

【0026】（ステップ301）アクセス権限を再設定するファイルの種類（測定条件ファイルおよびデータファイル）を指定する。

【0027】（ステップ302）システム利用開始時に

入力されるユーザIDを含む測定条件ファイルまたはデータファイルを検索する。

【0028】（ステップ303）ステップ302における検索処理の結果、該当するファイルがある場合はステップ304へ分岐し、該当ファイル一つも無い場合は、ステップ301の処理分岐し、入力待ち状態となる。

【0029】（ステップ304）ステップ302での検索処理結果の該当ファイル一覧を表示し、アクセス権限を変更するファイルの選択を促す。

10 【0030】（ステップ305）ステップ304で表示された該当ファイルからの、アクセス権限変更対象とするファイルのユーザの選択待ち処理を行う。

【0031】（ステップ306）ステップ305で選択されたファイルに対し、変更前のアクセス権限を表示し、変更後のアクセス権限入力を促し、入力値をファイルに記録する。

【0032】（ステップ307）ステップ306で入力されたファイルの他にアクセス権限設定を行いたいファイルがある場合、ステップ301へ戻り、ステップ302から306までの処理を再び行う。

20 【0033】

【発明の効果】本発明によれば、システムを利用する各ユーザ自身が、他ユーザに対する測定条件およびデータファイルのアクセス権限をファイル毎に設定できるため、測定条件ファイルおよびデータファイルに対し、ファイル保護および管理を容易に行うことができ、操作性を向上することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】測定条件ファイル作成処理のフローチャート。

30 【図2】測定終了時におけるデータファイルへのアクセス権限設定処理のフローチャート。

【図3】測定条件およびデータファイルへのアクセス権限再設定処理のフローチャート。

【図4】システムブロック図。

【図5】ユーザID管理ファイル内部の説明図。

【図6】測定条件ファイル内部の説明図。

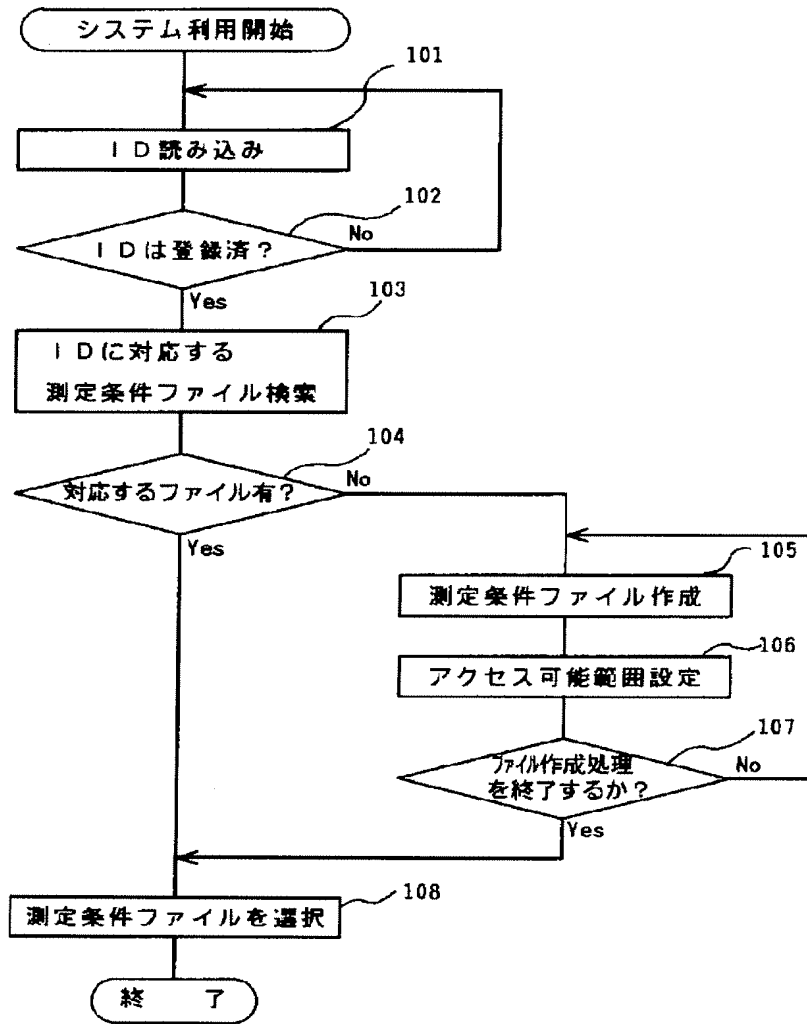
【図7】データファイル内部の説明図。

【符号の説明】

40 401…データ処理装置、402…測定条件ファイルおよびユーザID管理ファイル記憶部、403、409…演算制御部、404…表示部、405…操作部、406、410…外部通信用インタフェース部、407…分析装置、408…パラメータ記憶部、411…分析部、412…通信回線。

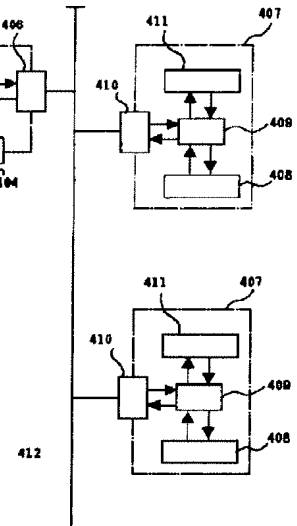
【図1】

図 1



【図4】

図 4



【図5】

図 5

登録ID数
ID 1
ID 2
ID 3
:
:
ID n

【図6】

図 6

ファイル作成者ユーザID
測定条件ファイル名
他ユーザに対するアクセス権限
パラメータ 1
:
:
パラメータ 3
:
:
パラメータ n

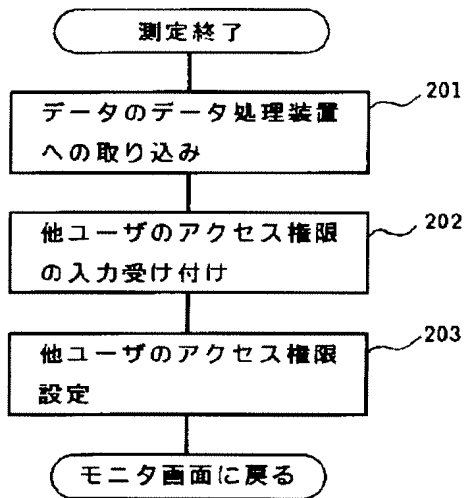
【図7】

図 7

分析者ユーザID
測定条件ファイル名
他ユーザに対するアクセス権限
測定日付
データ 1
データ 2
:
:
データ m

【図2】

図 2



【図3】

図 3

